

学校適正規模・適正配置に関する地域意見交換会

日 時	令和5年8月25日(金) 午後7時から午後8時35分	場 所	余目第二まちづくりセンター
出席者	教育委員会	菅原審議会会長、梅木教育委員、太田教育委員、齊藤教育委員 飯淵教育委員、佐藤教育長、佐藤課長、菅原補佐、富山指導主 事、渡部係長	
	地域参加者	22名(保護者5名、地域住民13名、その他4名)	
1 開 会	19:00		
2 あいさつ	佐藤教育長		
3 説 明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会の経過と今後のスケジュール</li> <li>・ 児童生徒数推移</li> <li>・ アンケート結果の概要</li> <li>・ 答申案概要</li> <li>・ 学校整備の流れ(案)</li> <li>・ 小学校学区編成についての考え方(案)</li> </ul> (資料に沿って事務局が説明)		
教育長	<p>しばらくの間、意見交換の座長を務めさせていただきます。進行にご協力をお願いします。只今、事務局の方から、児童生徒の減少の課題、学校施設の老朽化の課題などを受けて、20～30年後を見据えてということで、審議会ですべて話されてきた内容の報告と補足の説明がありました。意見交換の進め方として、まず最初に小学校の学校整備について、次に中学校の整備についてと分けて進めていきたいと思っております。なお、ご発言の前に受付で書いていただいたような形で地域名とか、ご自分の立場、氏名を述べてくださるようお願いいたします。例えば、「上朝丸の地域住民、または、保護者の〇〇〇〇です」と発言していただくとありがたいです。</p> <p>それでは、小学校の学校整備について質問ございますでしょうか。</p>		
A	<p>今、私の子どもが第一幼稚園に通っているんですけども、集落を見ていて、余目の町中の人たちが多いなという印象を受けています。その中で校舎数を減らすにあたって、町内会毎で学区編成をすると通学時間だったり解消されるのかなと思っていたんですけども、どうしても学区編成の最小単位が今の小学校学区になるということで話がありましたが、そちらに関してはどういった理由でそうなったのかお聞きしたいです。</p>		
教育長	ありがとうございます。それでは、事務局お願いします。		
教育総務係長	<p>学区編成のついての最小単位について、現在の既存の学区を最小単位としてということではありますが、審議会では今現在の学区を分断する、例えば、二小学区でいいますと余目新田、上堀野、中堀野が別の学区になるようなことは避けたいということも具体的にありまして、最小単位としては今現在の学区が望ましいのではないかとという考え方が出ておりました。</p>		
A	それに関しては、やはり、歴史的背景とか地域のつながりというのが一番大きい理由ですか。		

教育総務係長	そのように捉えています。
教育長	他にご質問ありませんか。
B	パターン1、パターン2、パターン3、パターン4とありますが、すべて新築にするという考え方ですか。それとも、パターン1であれば、一小、二小、三小は新築で、四小と立小は既存の学校を利用していくという考えでしょうか。
教育長	パターンについての質問でした。事務局お願いします。
教育総務係長	パターンについては、審議会の中で、一小、二小、三小は既存の学校で対応できないだろうということで、新しく用地を選定して新校舎で考えております。具体的にパターン1を見ていただきまして、そう考えると、四小と立小については当面の間、既存の学校を使っていただいて、最終的に庄内町の小学校が1校となった際は、新築した校舎で対応するとして、四小、立小を新築するという考え方はしていません。
B	パターン3の場合は、四小と立小を新築すく可能性もあるけど、パターン1の場合は、四小と立小は既存の学校を使って、のちのち1校になった際は新しい校舎を使うということによろしいのでしょうか。20～30年後を見るのであれば、一小、二小、三小はとても古いということだったので、そういう方向で将来一つになるのであればいいかなと思っています。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	審議会から出てきた意見ということで、このような1から4までのパターンという段階的に統合していく場合はこのような案が考えられるということですが、審議会からこのような意見が出てきたということですが、審議会ではこの場合、一小、二小、三小については新築することが望ましいということが出ていますけども、それ以外のところにつきましては、四小、立小につきましては、耐震性はあるということで当面は使えるということはお出ておりますが、それ以外のもっと深い部分の話が出ておりませんので、この辺は、審議会としてはこのような意見までしか出ていないということをご了解いただきたい。
教育長	よろしいでしょうか。それでは、他に質問ございませんか。
C	パターン4があるわけなんですけども、当然、費用対効果ということが重要になるかと思いますが、パターン毎、建設費などが変わってくると思うが、その辺はどのように考えていますか。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
課長補佐	適正規模・適正配置に関して試算しました金額になりますが、パターン1につきましては、一小、二小、三小が新築、四小、立小は長寿命化といってリフォームしたり、これから長く使おうという考え方で試算した金額になるんですけども、建物だけですけども43億円、パターン2については、1小から4小まで一緒にして新しい校舎を一つ建てるとのこと、立川小学校は長寿命化でこれについては総額で40億円、パターン3については、一小、二小、三小を新築、四小と立小、どちらかを長寿命化で使うという考え方で総

	額で35億円、パターン4については庄内町全体を考えて新築校舎1校ということで、33億円として試算しております。
教育長	ご理解いただけましたでしょうか。
C	通学時間についてなんですけども、小学校では30分未満が望ましいというような話が出ていましたが、当然、学校をまとめれば、距離が遠くなる人、通学時間は長くなる人が出てくるわけですね。いくら30分未満がいいといっている、実際はもっとかかる人もでてくるわけですね。その辺はどのように考えていますか。
教育長	ありがとうございます。通学時間について、事務局お願いします。
教育課長	仮にですけども、町内小学校が一つになった場合ということでありますが、どこに学校を建てるかで時間も変わってきますが、現在の余目中学校付近を想定した場合、立谷沢地域が一番遠いということになるかと思えます。バスを使った場合で一番遠い集落、瀬場から来た場合、1時間くらいかかるのではないかと見込んでおります。ただし、どのような運行経路をとるかによって、寄ってくる集落の数が少なければ、それだけ早くなるわけですので、現在と同じくらいと考えれば1時間くらいと見込んでいます。ただし、現在、一番遠い瀬場集落には子どもがおりませんので、令和11年度を基準にした際に、一番遠くの集落は鉢子という集落が想定されますが、そこからだと約45分くらいを見込んでいます。繰り返になりますが、学校を建てる場所によって、この辺の時間は変わってくるのかなと予想しているところです。
教育長	ご理解いただけましたでしょうか。
C	立川の奥の方の集落もありますので、パターン4の町内1校というのは無理があるのではないかと思います。よしんばですね、立川の奥の方に移住してきたという人が出てきた場合、子どもさんがいるような場合、どうしても移住したいとなった場合、どうされますか。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	一番奥の方の集落にお子さんがあるとすれば、そこまでは、お子さんが学校に通う手段については、町として考えていかなければいけないと思いますので、その辺は、スクールバスを配車しなければいけないと思っております。時間が長くなるだろうという心配もあるかと思いますが、審議会の中では、そのような場合は、スクールバスの中での乗車時間を上手く活用した方法も考えたらどうかという意見も出たところです。
教育長	よろしいでしょうか。他にご質問ありませんか。
D	今日、昨年度、こういうアンケートをとったということ、広報に出たと思いますけども、なかなか見る機会がなくて、今、初めて見させていただきました。それから、10年後の人数とかそういったものも、私たちが気が付かないと、こういう資料が見れないということで大変参考になりました。私が考えていることは、各学校、これから間違いなく人数が減っていくと、そういった場合に、ある人は、少人数だから指導しやすいという方もいるかもしれ

	<p>ませんが、私は、保護者の方のアンケートを見ると大半が複数学級が望ましいとっていますが、私も複数学級が望ましいと思っていますので、出来るだけ複数学級で子どもたちの環境を変えるようなそういった融通が利く教育課程が組める学校が理想的なのかなと思っていますところ。一番基本に考えていただきたいのが、統合する場合、あくまでも子どもたちのための小、中学校の教育の在り方を考えてほしい。遊佐小学校が1校になって統合されたわけですが、その辺で、例えば、遊佐の場合は通学時間、どんな感じの実態なのかということもわかる範囲以内で教えていただければと思います。庄内町は南北に長い町ですので、当然、一番遠い集落に子どもたちがいれば、学校がどこにあるかで、時間的にもかなりの差があるわけですが、その辺はこれからいろいろな統合に向けての課題がある場合には、適正規模・適正配置審議会の中で議論を尽くしていい方向に進めていただければと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。只今の件について、事務お願いします。</p>
教育課長	<p>少人数学級と複数学級のことにしましては、審議会の中でも、少人数学級の良さは認める。と、それと複数学級の良さを比べ、これからの子どもたちのことを考えれば、複数学級の方がいいだろうと、少人数学級を否定するわけではないですが、複数学級の方がより良いだろうということで意見がまとまったところでした。それから、遊佐町の状況ということでありましたが、遊佐町につきましては、やはり、いろんな地域から学校に来るということで、子どもたちが学校に来る時間をできるだけ短くしたいという方針で、スクールバス台数を増やし、いろんなところを経由しないように、出来るだけ短時間で学校に来るような方策をしたと聞いています。一番遠いところで30分程度というふうに聞いています。庄内町もその辺を参考にしながら、もし、仮に統合なった場合ですが、出来るだけ早く学校につけるよう、その辺のところは考えなければいけないのかなと思っています。</p>
教育長	<p>他にご質問ありませんか。</p>
E	<p>小学校、中学校の通学時間、アンケートでは30分未満が望ましいとか出ておりますが、この件で文部科学省ですとか、県、そういったところで通学時間の目安とか基準がそもそも示されているのかどうかということをお聴きしたい。もう一つ、立川地域、特に立谷沢地域の小中学生の場合ですと、場合によっては、住んでいる場所によっては、鶴岡の藤島ですとか羽黒の方が近いというような人が出てくると思います。今後、こういう動きが出てくるということがあるわけですが、仮にこういう学校が遠くなるからという理由、他にも様々な個人的な理由があるかもしれませんが、本来の学区以外の学校に通うことは、そもそも可能なのかどうか、前例があるのかどうか、今現在どうなっているのか、そういったところをお聴きしたい。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。二点、ご質問があったと思います。それでは、事務局の方お願いします。</p>
指導主事	<p>一点目の国の方の基準ということで、出典の方が定かでなく、参考資料にな</p>

	<p>りますが、通学距離が小学校が概ね4キロ以内、中学校概ね6キロ以内、通学時間は概ね1時間以内ということで、国の方で参考資料にはなりますが載っておりました。もう一点、通う学校は原則、お住いの学区の学校に通うということにはなっています。ただ、いじめなど重大な事情がある場合などは、話を聞きながら対応することも可能です。それから、中学校の2年生、3年生、小学校の場合、6年生については、途中で他の学区に異動するとなると卒業まで近いので、子どもたちが可哀想な思いをするので、これについては、今までの学校に通うということは可能です。</p>
教育長	<p>ご理解いただけましたでしょうか。他に質問ありませんか。</p>
F	<p>小学校の学区編成ですが、パターン1、パターン2、パターン3と金額的に43億、40億、35億と数字はいいんですけども、私個人的には、少なからず早急に、パターン2とかパターン3とかいろいろな配慮があるんでしょうけども、1校ということ的前提としてやられた方がずうっと早いと思います。なぜかと言いますと、これをやると無駄が多いです。ですから、金額的なことも含めてですが、中学校一つ、小学校一つというふうな一定の目標を立ててやられた方が、町民の方も含めて、これから小学校、中学校に関わりの出てくるお子さんのいる方からもご理解が得られるのではないかと思います。あくまでも私の個人的な意見です。</p>
教育長	<p>ご意見ありがとうございます。事務局の方お願いします。</p>
教育課長	<p>ご意見ありがとうございます。今、審議会で考えました方針につきまして、地域を回って皆さまからご意見をいただいているところですけども、今まで、一学区、三学区、今日が三回目の第二学区ということになっております。この先、第四学区、それから、立川地区ということで説明に行く予定です。学校の統合、整備につきましては地域の方々のご理解が必要ですので、その辺のこともありますので、地域の状況を踏まえながら、パターン4の形でいくのであれば、地域の方々のご理解を得ることができれば可能かと思っておりますけども、その辺の話し合い次第かなと思っています。</p>
教育長	<p>質問は他にありますか。</p>
G	<p>先ほど、立川地域のことで小中一貫という話がありましたけども、今回の話をやる中で庄内町全体で小中一貫という話はあったのでしょうか。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。事務局お願いします。</p>
教育総務係長	<p>只今の件については、審議会の中では話が出てこなかった内容になります。</p>
教育長	<p>審議会の中ではということになりますが、ご理解いただけましたでしょうか。他に質問ありますか。</p>
H	<p>二点ありまして、一点目がアンケート調査を行ったということですが、どのような形で実施されたのか、子どもたちを通わせることになる保護者の意見が反映されているのか教えてほしいです。もう一つが、自分が若いからかもしれないませんが、余目の歴史的背景というのがわからないのです。学校で教わったわけでもありません。ただ、おじいちゃん、おばあちゃんの話をおきくとなんとなくそういうことがあったんだろうなというふうなことしかわかっ</p>

	ていないのです。私より若い世代の人も同じだと思うんです。先ほども、例えば、余目新田とか二小学区から分けられないという話もありましたが、そうなっている背景がわからないので、なかなか踏み込めないんですけど、それを知る上での文献などあれば教えていただききたいと思います。
教育長	二点質問があったかと思います。事務局お願いします。
教育総務係長	アンケートの実施につきまして、実施した対象者としては、町民 1000 人、それから、保育園、幼稚園、小中学校の保護者 1221 人、あと教員 140 人ということで、2361 人を対象に実施し、回収率が 61.6%ということで、町民の方については無作為の形で選ばせていただいたところです。
教育課長	補足させていただきます。アンケート調査につきましては、昨年、令和 4 年 6 月に実施しました。一般の住民の方につきましては、20 歳以上 75 歳以下ということで、こちら 1000 人を対象としました。年代、地域、性別にばらつきが無いように調整はさせていただきました。保護者につきましては、町内の保育園、認定こども園、幼稚園、それから、小学校、中学校の保護者、こちらの方すべてを対象にさせていただきました。そのようなことでアンケート実施しております。それから、余目の歴史的背景が分かるような文献はあるのかということでしたが、文献といわれましても具体的にはないのかということですので。申し訳ございません。
教育長	よろしいでしょうか。他に質問ございませんか。
I	小学校を再編して 1 校ないし 2 校という話ですけども、一小、二小、三小を新しい校舎を建てるとなったときに、結構広さが必要だなと思うんですけども、建てる場所についてはみんな気になると思うんですよね。候補地については話に出ているのかなということが一つ気になるところです。あと、新しい校舎を建てたときに、今の既存の校舎はどうなっちゃうのかなということ、今この場での協議の内容ではないと思うんですけど、幼稚園はそのまま残す感じになるんでしょうか。
教育長	ありがとうございます。それでは、事務局お願いします。
課長補佐	統合したときの小学校をどこに建てるのかということですが、今現在は未定となっております。仮に統合して小学校を新設して建てるとなれば、統合準備委員会、そういったものを立ち上げて用地選定などこれから話し合われていくという流れになると思います。既存の校舎になりますが、こちらの方も校舎をどのように活用するかということは今後の検討になるかと思いますし、防災拠点として使われることも想定されますので、町の方でも検討を進めていきたいと考えています。
教育課長	三点目の幼稚園に関してであります。先ほどの児童生徒数の推移でもわかるように幼稚園にも同じことが言えるわけですけども、今回の審議会につきましては、小学校と中学校の将来の在り方について審議してもらっています。ここに幼稚園の話が入ってきますと、幼稚園も考えなければいけないのですが、協議に大変時間がかかってしまうと予想されましたので、とりあえず、小学校と中学校に関して先に方向性を決めてもらおうと。その方向性が決

	<p>まれば、自ずと幼稚園の方向性も見えてくるのかなと思っております。この辺は別途組織をつくり、幼稚園の方向性について改めて検討していくということを考えております。</p>
教育長	<p>よろしでしょうか。</p>
I	<p>わかりました。幼稚園だと庄内町では、プレ小学校というような感じの言い方をされて、小学校とセットなんだよという言い方をよくされるので、その辺、どうなのかなと思ったところです。</p>
J	<p>私もこちらに来てやっと学区というものが理解できてきました。親戚も多いもので、いろいろ教えてもらいながら、余目新田の親戚には4歳の男の子がおりまして、その子が具合が悪いと幼稚園なんだけど、人数が少ないから第三幼稚園の方に行くというような、町の中で調整がとられているんだなと思いました。全然関係のない話なのですが、私の出身は昔の松山町で小さい町です。大川渡というほんとに小さい狩川の向こう側の部落の出身で、高校まではそこに居ましたので、いろんな状況はその時点までは、高校は松山里仁館を出ましたので、松山中学校や里仁館に入るときは、どちらも新築の学校に入らせていただきありがたいなと思いました。こちらの方には2年前に帰ってきてまして、いろいろ勉強させていただいておりますけども、実際、酒田市にはなりますが、自分が生まれた集落、大川渡には中学生1人しかおりません。そこにスクールバス何時に来ると聞いてみたら、7時30分に神社の前に来る、小学生は小学生で人数は少ないけども小学校も中学校も1台ずつ来る、たまに重なるときもあるというように言っていました。小学校は山寺の方に一つの小学校ということで一緒になっております。中学校については平田にある東部中学校にみんなスクールバスで通っている状況です。実際、私が卒業したら、今わかるように生涯学習センターという形で地域の皆さまご利用いただいている状況にありますが、実際、私がこちらに戻ってきて、昔の松山町という時代と余目町という時代を比べたときに、松山町は質素な町になってしまったけども、反対に、交通に関して、スクールバスは、庄内町までも出張している状況でありますので、そういう点では、隣の酒田市にはなりますけども、いろんなことを提携しながら今後やっていただきたいというのがありますし、一つの学校を建てるにしても、私としては、一つ一つ中学校、小学校と隣合わせで建ててほしいなという希望があります。そうなりますと、交通規制とか、スクールバスの時間の問題を考えますと、どうしても便利なところに建てよう、建てざるを得ないと思います。また、警察の近くとか、病院の近くとか考えるとここかなと自分の理想はあるのですが、そうなりますとその地域の交通網の渋滞とか、私、今、第三学区をたまに散歩をするんですが、どうしても朝の交通渋滞を見えますと、すごく危ないなというときもありますし、地域の方々が犬の散歩をしながらちゃんと横断歩道のところに立ってしてくれる方もおりますので、地域で子どもたちを支えていかなければならないと思いますので、まずは、学校としてのビジョンを立てていただきまして、それから地域の安全を考えるうえで、地域</p>

	の方でもお互いを支え合うネットワークを使っただけで、是非、教育長を中心に子どもの安全などを考えながら地域づくりを進めていただきたいと思います。
教育長	ご意見ありがとうございました。他に質問ございますか。
K	今日の話の中で先ほど、幼稚園の話がありました。この会というのは小学校と中学校ということで、幼稚園のことは、まず、今のところは話の中には入っていないということがありました。先ほどの話の中で幼稚園と小学校は一つになっているのか、第一小学校であれば第一幼稚園がそばにあるというような考え方で今は建てられていると思われます。その点から見ても、例えば、パターン1からパターン4に関してどのようなふうになったとしてもそこに幼稚園と一緒に考えるのであればの話なんですけども、今はまだそこまでは考えられないということでしたが、やはり、幼稚園もそこにもっていくというような考えを少しでももっていないと、これから土地のことなどの広さを考えたときに、幼稚園がそこにつくれない、場所どうしようみたいな感じになることもあるかと思います。今回は小学校と中学校だけだったので、この話にはならないかと思いますが、それでもやはり、幼稚園のことも考えていかなければならないのかなと今、思いました。中学校に関してですが、これから鶴岡の致道館の受験も考えられるのではないかと思います。そうすると、そちらの方に行く方のことも考えますと、中学校、今から7年、8年、10年後にはもっと減る可能性があるのではないかなと思われましたがその点についてはどのように考えているかお願いします。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
教育課長	ご意見ということでありがとうございます。幼稚園の件につきましては、先ほど話したとおりですけれども、審議会の中で幼稚園はどうするのかということは確かに出てきました。出てきたところですが、今後の小中学校の在り方のことを考えますと時間が非常にかかるということで、そこは、別の機会、別の組織で考えるということで、そこは審議会としてまとめるということではないという状況であります。幼稚園のこともまた出てきますので、幼稚園のことも考えなければいけない時期になっていきますので、そこはまた別の組織で考えていかなければいけないと教育委員会でも思っているところではあります。また、致道館の件につきましては、来年度から始まるので、今年度、受験する子どもが出てきます。そこは、私どもも予想は出来ないところですので、そういう子どもが出てくることは想定はしておりますけれども、どのくらいいるのか皆目見当もつきませんので、その辺、今年度の状況をみながら、次年度以降、将来的なことを考えていきたいと思っております。ご意見ありがとうございます。
教育長	今、課長が話したとおりとなりますので、ここに出ているに在る人数よりも受験して合格すればマイナスなるということは想定しております。質問他にございますか。
D	審議会の意見として、資料の7ページ、8ページにあったわけですが、



	<p>その中でお聞きしたいのは、私も第二小学校の第1回目の卒業生で60年以上経つわけですが、小学校において施設安全性の確保の観点から優先的に余目一小、二小、三小を何とかしないといけないということはわかるんですけども、10年ほど前に耐震補強もやったんですけども、それから、今後統合するまで何年くらいかかるかわからないわけですが、その間、耐震性の問題はないのかどうかお聞きしたい。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。耐震に関してでした。事務局お願いします。</p>
教育課長	<p>一小、二小、三小につきましては、ほぼ同じ時期、10年くらい前に耐震化はしております。ですので、耐震性については問題はないんですけども、築60年経っております。耐震性以外の部分、相当老朽化しておりますので、その辺のところをここでは表現したところです。大きな地震があった場合、建物に被害がないということはあり得ないのかなと思っています。耐震性というのは子どもたちの命を守る、そういう建物の強度があるかどうかですので、やはり、今の最新の学校に比べればその辺はちょっと弱いのかなと思っています。</p>
教育長	<p>今の説明でよろしでしょうか。他に質問ございますか。</p>
C	<p>当然統合すれば、通学時間が長くなると思いますけども、今は全員スクールバスというわけではなくて、学校から半径何キロ未満を徒歩だけでもそれ以上遠いところはスクールバスなどというような基準はあるのか。そうするとバスの台数も増えると思うんです。大型バスも必要でしょうけども、小型の機能性のよいもの必要になってくると思います。一番言いたいことは、私たち大人での基準の判断は大切なわけですが、あくまでも子どもたちを中心とした、小学校1年生が冬の吹雪の中を歩いて来たりとか、この間、熱中症で倒れた女子中学生もいたようですけども、今後夏場どんどん暑くなります。そういったことから考えても、冬期間とか夏の暑いときなどはスクールバスの利用をお願いしたいなと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。通学についての質問でしたので、事務局お願いします。</p>
教育課長	<p>スクールバスに乗る基準ですが、小学校につきましては、この集落は通年バスに乗せる、この集落は冬期間だけ乗せるということで集落ごとで決めているんですけども、そのおおよその目安というのはですね、学校から3キロ以上離れている集落は通年バス通学となっております。それから2キロ以上離れている集落は冬の間、冬期間だけバス通学ということで、現在運行しております。それから、夏の暑いときもバスに乗せてはどうかということでしたけども、まさに今週一週間、非常に暑い日が続いております。夏休みが明けて今週から学校が始まったわけですが、環境省が出している暑さ指数が危険というような指数が下校時間、出ているというようなことがありましたので、通常の見準にこだわらずにおおよそ1キロ以上離れている子どもを目安に臨時でスクールバスを運行して下校させております。夏の暑い日につきましては、環境省の暑さ指数を目安に危険だというふうな日には、今後</p>

	<p>もスクールバスで対応していきたいと思っています。冬の期間ですけれども、こちらも気象的に厳しい、暴風警報などが出るようなとき歩いていくことが難しいと考えられますので、先ほど話したとおり、2キロ以上離れている集落はスクールバスに乗せておりますけれども、それ以外の集落につきましても徒歩で歩いてくるのが困難と思われる地域につきましては、今年の1月にそういう警報が出たときにスクールバスに乗車させて下校したという実績はあります。そういう考え方をもって下校にあたりたいと思っています。</p>
教育長	<p>今の説明ご理解いただけましたでしょうか。だいぶ時間も迫ってきましたが、小学校についての質問ございますか</p>
L	<p>先ほどの説明では、パターン1から4までの場合、43億、40億、35億、33億という話でしたが、一発で統合した方が、33億で経費が削減できると思います。小学校で一小、二小、三小、四小、立小の利用なんですけど、何か条件は付くのでしょうか。将来、この小学校の校舎を何かに利用するとかした場合は、それができるとか、できないとか。もしくは、新しい小学校を造るにあたって国の方から補助が来るんでしょうから、それに伴って古い校舎はこのようにしなさいとか、そのような条件があるかどうか教えてください。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。事務局の方お願いします。</p>
課長補佐	<p>古い校舎をどうしなさいという話はないと思いますが、補助金を使って校舎を建てているわけですから、その補助に対応する年数といいますか、その制限がある場合は、どのように利用するかと考えていかなければならないところがあるかと思います。ある程度、年数が経てば、校舎を廃校にするなどできることになります。</p>
教育課長	<p>補足をさせさせていただきます。使わなくなった小学校を利用できるのかということでありましたけれども、他の自治体の例をみれば、例えば、先ほど松山里仁館の話がありましたが、高校から社会教育施設になっているということありますので、小学校として使わなくなったのであれば、他の施設として使うことは可能かと思います。審議会の中では、具体的に何に使った方がいいかとかそこまでは意見が出ていない状況です。</p>
教育長	<p>今の説明ご理解いただけましたでしょうか。他に小学校にご質問ございますか。ないようですので、質問を打ち切らせていただいてもよろしいでしょうか。それでは、小学校の整備については、審議会の方針としまして、児童数の減少や校舎の老朽化を考慮すると、只今、ご質問の中にもありましたが、余目一小、二小、三小は一つの学校として優先的に整備することが望ましいということと、また、将来的には庄内町の小学校は一つになるにしても段階的な移行が必要であるということ。特に余目第四小学校と立川小学校については、地域とのつながりや歴史的背景を考慮すると地域や保護者の方の合意形成のもと、より丁寧に進める必要があるのではないかという意見がでております。これにつきまして、皆さまからご意見をいただきたいと思っています。資料4、<a href="#">8ページ</a>の学校整備にあたっての審議会意見につきましても、ご意見</p>

	をいただきたいと思います。
F	先ほども同じことをいいましたが、要するに、確かに地元住民の意見とか、歴史的背景も考慮して、小学校を段階的に1校にするというのは、それは名目上はいいと思うんだけど、私は、これは無駄が多いと思います。庄内町が今現在財源的に豊かな町とは思いませんし、逼迫している状況なんですよ。ここには、教育委員会の人しかいませんが、財政をやっている人から見れば、間違いなく逼迫している。なぜかという箱モノがあまりにも多すぎるんですよ。箱モノが多いということは無駄があるということで、使っていないところは壊さないといけないわけですよ。壊して無くすということをしていないと間違いなく箱モノ行政になってしまいます。どんどん、どんどん人口が減っています。そしたらどうするか、もちろん、小学校を一つ建てるんだから関係ないというかもしれませんが、非常に大事なことはお金なんですよ。お金と人の問題なんです。それを考えて、7年かかるところを5年でやれとか、そういうことを言っているのではないけども、段階的にやるということは確かに言葉はいいけども、無駄をつくることにつながる。やっぱり、1校なら1校として絞り込んで方向性を見出したほうが答えは出ると思います。さっきも同じことを言いましたが無駄がないと思います。お金はかかります。今は資材なども25%から30%、コンクリートだって1.8倍くらいになってます。その中で、どんどん、どんどん上がっています。今後、間違いなく頭打ちで収まることもあるでしょうけども、さっきの説明の中では、段階的にやるということはわかるけども、もっとスピード感をもってやらないと、たぶん、お金がなくなると思います。
教育長	ご意見ありがとうございました。
C	只今のご意見に対してなんですけども、小学校を1校にまとめた場合、小学校1年生の子が1時間もかけてバスで通うというのは、あまりにもひどすぎると思います。お金も大変大切なことなんですけども、子ども中心に考えてもらいたいと思います。往復2時間もバスに乗って通うというのは、私は酷なことだと思います。
教育長	ご意見ありがとうございました。事務局お願いします。
教育課長	ご意見ありがとうございました。それぞれ異なった視点からご意見と受け止めさせていただきました。只今、いただきましたご意見に関しましては、審議会の方に報告させていただきたいと思います。
教育長	他に、小学校に関してのご意見ありませんか。
A	幼稚園児の子どもがいますので、小学校の教育の過程で地域とのつながりってすごく大切だと思うんですけども、通うのは子ども、実際教育を受けるのも子ども、今の子どもを持つ保護者の意見をたくさん聞いてもらって、取り入れてもらって、これから先の学校整備を進めていただければなと一保護者として思いました。
教育長	ありがとうございました。他に小学校へのご意見ありませんか。それでは、ここで小学校へのご意見は切らせていただいてよろしいでしょうか。続きまし

	<p>て、中学校の学校整備について移ります。中学校についての質問を受けたいと思います。ないようですので、ご意見の方に移らせていただきます。それでは、中学校の整備について、審議会の考え方としては、中学校は1校とするとしたうえで、理想としては、立川地域、余目地域両地域の生徒、保護者の負担を軽減するために中間的な場所に新たに校舎を建設することが望ましいが、現余目中学校の施設の大きさ、統合した場合のスクールバスの必要台数、既存社会教育施設の利用のしやすさや将来的な小学校建設などの財政負担などから総合的に判断して既存の余目中学校校舎を長寿命化改修し使用することが望ましいという方針（案）になりました。そうした際は、立川地域の生徒、保護者の負担を少しでも軽減できるような最大限の配慮が必要だということも出ております。具体的には、先ほど説明があった内容になりますが、<a href="#">資料4</a> 8ページに記載してある学校整備にあたってのご意見も含め、皆さまからご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか</p>
E	<p>自分の仕事の関係で、スクールバスというのはどこの地域でもそうですが、タクシー会社、バス会社に委託して行っているというのが実態です。現在、大変な人材不足、求人難という状況がありまして、庄内地域にいたっては、求人倍率が1.5倍という、鶴岡地域ではもっと求人倍率が高い状況なんですけど、そういったところから、スクールバスに限らず様々な業種においても求人が集まらない状況にあります。今後20年後、30年後を考えたときに、どこまで解消されるかということもありますが、スクールバスに移行するといっても、どこまで人員確保が可能なのか、特に余目地域においてのバス会社、また、近隣においてどこまで可能かということでもありますので、言い方は悪いのですが、スクールバスが必ずしも万能ではないということをご理解いただいた方がよいかと思います。ついでなので、申し上げますが、学校等の施設整備については、大変お金がかかることでありますが、どうせ造るのであれば、今後、将来に渡って使い続けられるものを造っていった方がいいと思います。どうしても施設を造るとなると造った後の維持管理、メンテナンス、そういったものでどうしても維持管理経費がかかってしまいます。そういったことを考えたときに、将来的な目線、見通ししたうえでの設備ですとか、やはり、利用する子どもや教職員の方を総合的に勘案したものを是非、造ってもらいたいと思います</p>
教育長	<p>ご意見ありがとうございます。事務局お願いします。</p>
教育課長	<p>一点目、スクールバスの件についてです。運転手が人が集まらないというような話が業界ではあるというふうに聞いておりますけども、幸いにも庄内町では今のところ、運行に必要な人数は確保できているところであります。将来的に、世の中、ちょっとわかりませんが、大型のスクールバスに限らず、いろいろな手段を考えてはどうかという提案だったかと思いますが、場合によってはタクシーとかということもあるのかもしれないので、その辺は総合的に将来考えさせていただきたいと思いました。二つ目、建設に関してですけども、造った後に費用がかかるようであれば、どうしても財政的</p>

	に負担がかかりますので、その辺はできるだけ維持管理費がかからないような学校を将来造っていきたいと、この辺、私の個人的な意見になりますけども、そのような学校をめざしていきたいと思ったところです。
教育長	他に中学校に関してのご意見ありますでしょうか。中学校についてのご意見ないとしますと、全体を通しまして何かございませんか。それでは、他に無いようですので意見交換をこれで終わらせていただきます。進行にご協力していただきまして、ありがとうございました。
5 その他	なし
6 閉 会	20:35